

# 平成11年度 福島県教育研究発表大会より

数学科における中・高連携について — 中・高連携学習指導研究員の3年間の歩み —

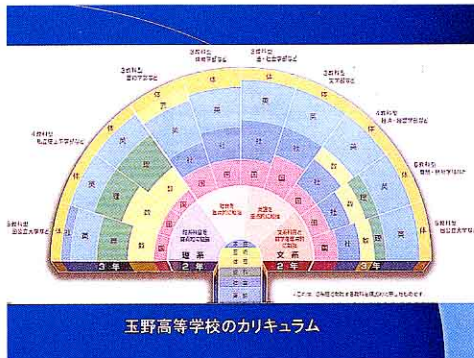
## ③ 県外視察による先進校研究

- 1年次 岡山県玉野市・倉敷市  
岡山県指定  
「中高連携教育の在り方に関する研究事業」  
・学習指導・進路指導における  
中高連携について  
・中高連携のあり方
- 2年次 和歌山県田辺市  
・西牟婁地方中高連携総合  
教育研究会の活動  
・テレビ会議システムを導入  
した相互の授業交流



## 数学科の取り組み

- テーマ  
「生徒のつまづきをなくすための具体的な方策」
- ① 中・高での授業方法の研究
- ② 教材の取り扱いの研究
- ③ 指導案の検討
- ④ 中・高間のつながりを意識した公開授業



## 中学校側の感想

- 現状  
・中・高の教員の考え方の違いが大きい
- 感想  
・高校での学習を意識した授業の展開  
・サクシードを単元の指導計画に活用

## ④ 教育に対する意見交換

- 2年次  
公開シンポジウム  
「夢に向かって学び、生きる」  
平成10年9月3日(木)  
福島テルサ



## 高等学校側の感想

- 現状  
・中・高間にあるギャップの認識不足  
・指導計画が中・高間のつながりより、大学  
入試偏重になりがち
- 感想  
・相互の授業公開の重要性  
・多くの教職員への啓蒙の必要性

## ④ 教育に対する意見交換

- 3年次  
公開フォーラム  
「見つけよう、学ぶ楽しさ・学ぶ喜び」  
平成11年9月3日(金)  
須賀川市文化センター



## これからの課題

- 中学校と高等学校の状況の  
違いを相互に理解することが  
必要
- 中・高間でギャップを作らない  
つながり教材の活用
- 新教育課程での単位減に向  
けて、中・高一貫指導への取  
組みの必要性
- 地域単位で学習面以外での  
連携を模索することも必要

